

アルガンオイル

媒体名	aromatopia	掲載日	2010年11月25日 (103号)	
タイトル	注目のオーガニック「アルガンオイル」			

mini aromatopia interview

注目のオーガニック「アルガンオイル」

最近、化粧品業界やエステ業界で注目が集まっているアルガンオイル。モロッコの原住民族、ベルベル族によって、古くから薬用・美容効果を持つ貴重なスキンケアオイルとして利用され、最近では欧州を中心に『砂漠の女性の美の秘訣』などという触れ込みで需要が急増しています。

アルガンオイルはモロッコに自生している“アルガンの樹”の種(仁)を搾って得られる植物油。オリーブオイルのように品質基準が統制されていない状況で需要が増えてしまった結果、世界的に様々な品質のアルガンオイルが流通し、中には粗悪なブレンドオイルも出回っているとか…。

アルガンオイルの現状を把握すべく、7年前よりアルガンオイルの生産組織“タルガニン生産協同組合”の正規輸入代理店をしているニュートリション・アクト社に話を聞いてみました。

担当者：現地の生産組織は協同組合や民間企業など様々で、製造方法も、ひいては、品質にも大きな違いがあります。新鮮でピュアなアルガンオイルは透き通った黄金色で、実特有の香りが僅かに香るのみで殆どにおいがありません。一方、例えば、伝統的な製法で作ると、素手で水を加えて油を搾り出すために、製造過程で油脂の酸化劣化が進んでしまい、日本の流通商品としては向きません。また、業者によっては、古い実やヤギの糞から回収した実などを使って作ることもあり、それらは強い酸化臭を伴っています。このような品質のものが日本でも出回っていることも事実です。



アルガンの実を砕いて、油を含む仁を取り出す作業。実が硬く、細かい作業のため、機械化が困難で技術を要する。現地女性の仕事となっている。

また、日本国内で化学的に精製を行っているものは、アルガンオイル特有の成分が除かれ黄金色ではなくなります。そのような状況の中、良質なアルガンオイルを日本に広めるべく、弊社では7年前よりタルガニン生産協同組合のアルガンオイルを提供しています。

タルガニン生産協同組合はアルガンオイルの価値を高めながら、なおかつ樹木を保護し、地域の砂漠化を防止することや、アルガンオイルの生産に深く関わっている現地の女性の収入の補償や、社会的な地位向上を目指した新しいビジネスモデルとして生まれました。立ち上げたのは、モハメド5世大学の生物学者 ズビダ・シャルーフ教授です。

シャルーフ教授の指導により、品質管理が徹底され、近代的な製造技術を導入して、新鮮で高品質なアルガンオイルを安定的に生産することが可能になりました。同組合のオーガニック(エコサート認証)アルガンオイルは、伸びがよく保湿効果に富み、浸透性にも優れています。また、ビタミンEがオリーブ油の2倍以上含まれており、さらに約1%含まれる不ケン化成分に様々な美肌成分が存在しているので、キャリアオイルや美容オイルにお奨めしています。

アルガンオイルは、モロッコでしか生産ができず、更に生産量が限られている希少なオイル。高価ですが、真に品質の良い物を見極めて、「モロッコの女性の美の神秘」を確かめたいものです。

(編集部)

タルガニン生産協同組合産

アルガンオイルについてのお問い合わせ先
株式会社 ニュートリション・アクト

Tel. 03-5475-7313

<http://www.nutrition-act.com/>